



鹿島駅駅舎新たな利活用に向けた検討はじまる

市では鹿島駅駅舎の利活用方針に関する検討を進めます(鹿島駅駅舎利活用施設整備計画策定業務)。
市と市民が一丸となって進めるべく、第1回目の検討会議を行いました。

本事業の概要

【事業の背景】

- 鹿島駅駅舎は開業から127年を迎えており、福島県内の常磐線において最も古い
- 老朽化及び度重なる地震による損傷が目立ち、安全性に課題あり
- 鹿島駅に隣接している鹿島区市街地では、店舗及び事業所の減少に歯止めがかからず、地域活力の衰退が懸念
- 鹿島区唯一の駅であり、区民にとって思い出が強い場所

【市の方針】

- 駅舎を改修し、市民利用施設とすることで地域活性化の拠点形成を目指す

改修

(耐震補強含む)

- 現駅舎を地域資源として捉え、現在の規模及び外観を尊重することを前提に行う
- 鉄道利用者の安全性や利便性の向上
⇒ 駅前広場の歩車動線分離の検討を含む
- 現駅舎の待合室として利用しているスペースは引き続き同じ用途で利用予定

※令和6年度に市が行った耐震診断にて、耐震補強を施すことで改修利用が可能であることを確認済。アスペクトに関しては、現在の駅舎建物より検出されたものの通常利用においては問題なく、改修時に適切な処置を行います。

市民利用施設としての整備

- 現駅舎の未活用スペースについては、市民利用を前提とした機能を導入します
- 新たな機能の導入により人流の変化を生み、地域活性化の拠点のひとつとします

第1回鹿島駅駅舎利活用施設検討会議について

鹿島駅の利用者やその関係者を中心とした委員構成にて、5月29日(木)に第1回検討会議(全3回)を開催しました。今回は、事業概要と検討会議設置の目的の説明と共に座談会を行いましたので、座談会の内容を一部共有させていただきます。
※紙面の都合上、代表的な例を記載いたしました。詳細については別紙をご参照ください。



問1. 鹿島駅駅舎に“あったらいいな”と思うのは、
どういったことが出来る場所ですか？



集う場所

安心して過ごせる場所

特色がある場所

利用者によって様々な使い方が出来る場所
(例：宿題が出来る、本を読める、誰かと一緒に作業が出来る)

等、他多数



問2. “あったらいいな”を実現するために必要だと
思われる「もの」「仕組み」について
考えてみませんか？

鉄道関係者との協力体制づくり

目的に合った設備や施設の整備

運営を担う人材や、システムづくり

等、他多数

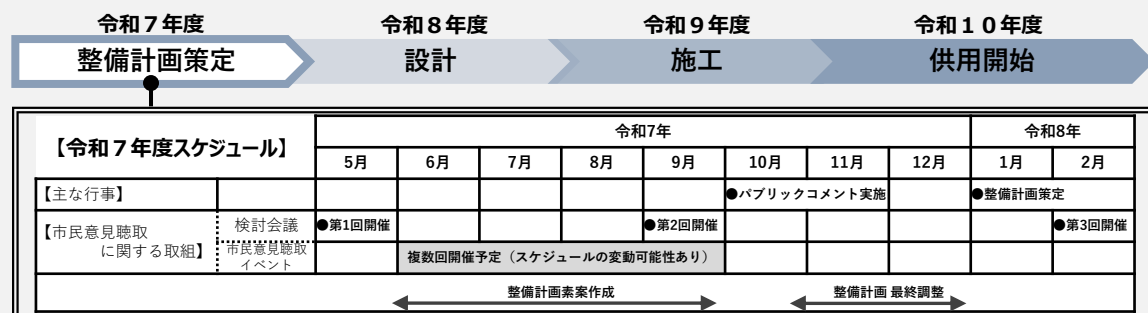


【意見の取扱いについて】

- 整備計画の検討において、「この街にとっての鹿島駅駅舎の在り方」を整理し、その実現に必要な施設機能の精査を進めます。その際、検討会議や今後実施する市民意見聴取にて出た意見を市民の声として活用させていただきます。
- 検討会議とは別途「市民意見聴取」の機会を設ける予定です。その際の場合づくりやテーマ設定においても活用をさせていただきます。

事業スケジュール

令和10年度の供用開始を目標に事業を進めており、令和7年度中の整備計画策定を目指しています。



今後の取組

整備後の施設は幅広い市民の利用を目指しているため、施設のあり方に関して市民の皆さんと意見を交わす機会を複数回設ける予定です。ご参加をお待ちしています！

市民意見聴取に係るイベント開催！

【日程】
6月～9月の間に開催予定
※詳細日程が決まり次第、ポスター掲示や市のホームページにて改めてお知らせします。



Q1. 鹿島駅駅舎に”あったらいいな”と思うのは、どういったことができる場所ですか？

こういうことが出来る場所	検討会議で出た意見	具体化例
集う場所		
	人が集まって飲食しながら話せる場所 老人をはじめとした多世代の集まる場所がない（からそういった場が欲しい） 送迎する人のコミュニティスペース お茶飲み	フリースペース、コミュニティスペース、かしま交流センターの分室の設置等
利用者によって様々な使い方が出来る場所		
	”つくる場” 誰かと結びつく、企画を広げる、自由に考えてよい所 子ども達が宿題できる場所 静かに一人で作業できる場所 図書室 日中は住民の休める場であり、夕方は学生が使用できる場 など、同じ場所でもメインの使用者（時間帯）によって使い分けが出来るスペース	フリースペース、自習室、研修室、図書スペース、カフェ、フリーWi-Fi環境等
日常生活の利便性を向上させる場所		
	郵便や荷物の発送が出来る ※送迎時間などに限定して 買い物をする場所 コインランドリー 周辺に住んでいる老人達の買い物をする場所が無い	KIOSK、自販機（飲み物、軽食、弁当等）、パン屋等
鉄道利用者の利便性が向上する場所		
	券売機 Suicaのチャージが出来るようにしてほしい 精算機 東口の新設 無料駐車場が必要	券売機(チャージ機能含む)の設置、駐車スペースの確保、東口の整備等
鉄道利用者の安全性が確保されている場所		
	送迎者ロータリーの歩者分離 送迎者の待機スペース 駅周辺の車の移動が多く、ロータリーが危険	駐車スペースの確保等
安心して過ごせる場所		
	小学生でも安全に親を待っていただける場が欲しい ”安心の場” 見守り、ほっとする、サードプレイス ”明るい場” ライト、光、夜も明るい 災害時の対応ができる（少数で良いので、毛布等の配備など）	こども食堂、ライブカメラ、明るい居場所の設置等
発信・発表ができる場所		
	レンタルスペースを設け、趣味の展示や個展の開催 ステージを設け、各住民の練習や発表の場や空間をつくる 伝言板設置 ”発信の場” 展示する（作品）、販売する（製品）、区の魅力、インスタグラム パネル展示をして歴史を感じさせる 鹿島の観光情報、子ども達の作品や取り組みの展示	さくらホールに分館機能を設置、ステージや展示スペースの設置等
特色や独自性がある場所		
	駅の歴史（周辺含む） 歴史があるので外観を崩さず中身を新しく おかしな町 施設内の催し物を曜日ごとに変化をさせる ピザ窯やキッチンスペース 日替わりのキッチンカースペース ポケモンGOやピクミンブルームとのコラボ 記念切符、セット販売、そこにしかないものを開発 「電車の見える〇〇」を駅舎のコンセプトにする 特色ある空間で127年の歴史を感じさせる雰囲気創出 例：珍しいランプ 行くと得することを取り入れる 例：フードドライブや自家菜園のおすそ分け 室内から外が見える休憩スペース 住民に本を寄贈してもらい、好きな本を自由に持ち帰ることができる イルミネーション	鹿島駅駅舎の持つ歴史を活かした施設づくり、キッチンスペース、イベントスペース、キッチンカーの配置スペース、建物内部から電車が見えそれが売りとなるような施設づくり
気軽に飲み食い出来る場所		
	区民も区外から来た人もフラッと寄れる飲食店	駅そば屋さん、カフェ
まちに出掛けるきっかけとなる場所		
	区外から訪れた方が区内の各所に移動する手段	レンタサイクル
自転車のメンテナンスが出来る場所		
	自転車屋さん	自転車屋、メンテナンススペース等

Q2. ”あったらいいな”を実現するために必要だと思われる「もの」「仕組み」について考えてみませんか。

項目	内容
設備や施設	
	Wi-Fi
	JA用地を一部借用し、ロータリーや無料駐車場をつくる
	キッチンスペース（シェアキッチン）の設置
	Suicaチャージ機器の設置
	自動販売機の設置
	駅前広場に駐車エリアの線引きをする
	イス・テーブル・ソファ・カウンターの設置
	情報発信用のパネル設置
	大きい駐車場（ロータリー等）
	スマホチャージスポット
	（レンタル品に）GPSをつける
人材	
	かしま交流センターや地域支援団体との連携
	地元各種団体が輪番制で運営を受け持つ
	地域おこし協力隊の募集
	「キーマン」が必要
	個別の困りごと（自転車修理等）に関して、対応できる人とやりとりできる手段 例：ココナラ
	JAの女性部 ※こども食堂の運営に関して
	無人で出来る機能にしておく（自販機等）
鉄道関係者との協力体制づくり	
	JRの理解
仕組み	
	"市民が互いに支援できるシステム" 材料、人材、技術を提供し共有し合える ※地域の資源を集める仕組みづくり
	"駅に行くためのシステムづくり" 巡回するミニバスやタクシー、駐車場スペース（無断駐車させない）
	"申請システムをつくる" 駅舎内のスペースやサービスを利用したい時に、スマホからスケジュールを組める ※誰もが運用できる最低限のシステム
	駅のイベントや催事などを知らせるWEBサイトを立ち上げる 例：鹿島駅コミュニティサイト
	駅までの交通手段の仕組みづくりが必要
	駅舎の運営に関わりたと思った時に、そのやる気の芽が育ちやすい場づくり 例：誘ってもらう場づくり
	オリジナル企画製品づくり（子ども達と考えたり、地元の食べ物を使う等）を行い、みんなが参加することで、ここにしかないものづくりを行う
財源	
	補助金の取得
イベント	
	鹿島寺社仏閣スタンプラリー
	休日ウォーキングイベント
	休日ランニングイベント
	休日サイクルイベント